

平成 30 年度
31

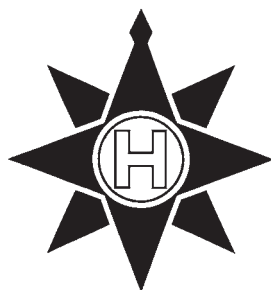
専攻科学生募集要項

産業システム工学専攻

(平成31年4月入学)

海事システム工学専攻

(平成30年10月入学・平成31年10月入学)



独立行政法人国立高等専門学校機構

広島商船高等専門学校

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野4272番地1

電話 (0846) 67-3022 (学生課教務係直通)

FAX (0846) 67-3029 (学 生 課)

ホームページ <http://www.hiroshima-cmt.ac.jp>

目 次

I	募集人員	1
II	選抜方法	1
III	日程表	1
IV	推薦による選抜	2～4
V	学力検査による選抜	5～9
VI	社会人特別選抜	10～13
	入学案内	14～19

広島商船高等専門学校三つの方針

○アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

求める学生像

- 自らの専門分野の知識・技術の基礎学力を備えている人
- これまでに修得した専門分野以外の幅広い産業分野への興味を持っている人
- コミュニケーション能力を身につけ、地域や国際社会で活躍できる専門的職業人を目指す人
- 科学技術に対する強い探求心を持ち、積極的に開発・研究に取り組みたい人

入学者選抜方針

本校では、「専門的知識と技術及び豊かな人間力を有し、社会に貢献できる実践的で創造的な技術者」の育成を目的とし、「求める学生像」に沿って、その能力と適性を有する人材を選抜するため、「推薦による選抜」、「学力検査による選抜」、「社会人選抜」を行います。

「推薦による選抜」においては、出身学校長が責任を持って推薦した学生で、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎的学力を有した学生を選抜するため、推薦書及び調査書を評価するとともに、志願動機、意欲、適性などに関して面接を行い、その結果を総合的に評価します。

「学力検査による選抜」においては、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した学生を選抜するため、調査書を評価するとともに学力検査等を行い、その結果を総合的に判断します。

「社会人選抜」においては、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した学生を選抜するため、志望理由書、調査書を評価するとともに、志望動機、意欲、適性などに関して面接を行い、その結果を総合的に評価します。

○カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本科における教育の基礎の上に立って特定の専門領域における高度の知識・素養を使いこなすことによって理解の程度を深化させるとともに、複合領域に対応できる幅広い視野を身につけ、高い課題設定・解決能力を備えた実践的・創造的技術者を育成する。

〈海事システム工学専攻（商船学）〉

海事に関わる幅広い知識・技術を持ち、海上輸送に関わるシステムの技術開発やマネジメントができる人材を目指す。

【商船学】

(1) 海上輸送、港湾、法規などの船舶運航分野又は熱機関、電気機械、設計などの船舶機関分野に加え、安全、環境、社会工学分野の知識・技術を修得し、海上輸送に関わる新技

術の開発やマネジメントの能力を身につける。

(2) 特別研究に取り組み、変化する社会や産業の状況を把握して課題を発見し、その解決策を計画して実行するとともに、その結果を検証する能力を身につける。

〈産業システム工学専攻（電気電子工学，社会システム工学）〉

【電気電子工学】

電子制御に関わる高度な知識・技術を持ち、制御機器・システムの技術開発や管理ができる人材を目指す。

(1) 電気・電子，機械，計測，制御，情報などの電子制御分野に加え，安全，環境，社会工学分野の知識・技術を修得し，制御機器・システムの開発や運用の能力を身につける。

(2) 特別研究に取り組み，変化する社会や産業の状況を把握して課題を発見し，その解決策を計画して実行するとともに，その結果を検証する能力を身につける。

【社会システム工学】

経営や情報に関わる高度な知識・技術を持ち，流通や物流の技術開発やマネジメントができる人材を目指す。

(1) 物流，輸送・交通工学，マーケティング，コスト・マネジメントなど流通・社会工学分野に加え，安全，環境に関わる知識・技術を修得し，流通・社会システムの開発やマネジメントの能力を身につける。

(2) 特別研究に取り組み，変化する社会や産業の状況を把握して課題を発見し，その解決策を計画して実行するとともに，その結果を検証する能力を身につける。

○ディプロマ・ポリシー（修了認定の方針）

本校では，次の学力や資質・能力を身につけ，学則で定める修業年限以上在籍し，所定の単位を修得した学生に対して修了を認定する。

- (1) 豊かな人間性と社会的責任感の育成（人間性と社会貢献）
- (2) 国際社会に対応したコミュニケーションスキルの養成（コミュニケーション能力）
- (3) 基礎科学と情報技術の修得とその活用（知識・技術とその活動）
- (4) 専門的知識・技術の確立と発展的応用（専門性とその拡充）
- (5) 社会情勢の変化に対応した問題解決能力の育成（創造性と探求心）

平成31年度専攻科学生募集要項

I 募集人員

入学時期	専攻科名	選抜方法	募集人員
平成31年4月	産業システム工学専攻	推薦・学力検査・社会人特別選抜	8名
平成30年10月	海事システム工学専攻	学力検査・社会人特別選抜	若干名
平成31年10月	海事システム工学専攻	推薦による選抜	4名

II 選抜方法

入学者の選抜方法	推薦による選抜	(2～4ページを参照)
	学力検査による選抜	(5～9ページを参照)
	社会人特別選抜	(10～13ページを参照)

III 日程表

◎ 産業システム工学専攻

事項	推薦による選抜	学力検査による選抜 及び社会人特別選抜
願書受付期間	平成30年8月27日(月) } 8月31日(金)	平成30年10月31日(水) } 11月6日(火)
検査日	9月11日(火)	11月11日(日)
合格発表日	9月14日(金)	11月16日(金)
入学確約書提出期限	9月21日(金)	11月30日(金) (社会人特別選抜のみ)

◎ 海事システム工学専攻

事項	推薦による選抜	学力検査による選抜 及び社会人特別選抜
願書受付期間	平成30年8月27日(月) } 8月31日(金)	平成30年8月27日(月) } 8月31日(金)
検査日	9月11日(火)	9月11日(火)
合格発表日	9月14日(金)	9月14日(金)
入学確約書提出期限	9月21日(金)	9月21日(金) (社会人特別選抜のみ)

IV 推薦による選抜

1 出願資格

(産業システム工学専攻)

平成30年9月又は平成31年3月に高等専門学校卒業見込みの者で、学校長が学業成績及び人物ともに優れていると認め推薦する者としてします。

(海事システム工学専攻)

平成31年3月又は平成31年9月に高等専門学校卒業見込みの者で、学校長が学業成績及び人物ともに優れていると認め推薦する者としてします。

2 出願手続

(1) 願書受付期間

産業システム工学専攻	平成30年8月27日(月)から平成30年8月31日(金)まで
海事システム工学専攻	

- ※1 持参の場合は、期間内の午前9時から午後4時まで受け付けます。
- ※2 郵送の場合は、**期間内必着**です。郵便事情を考慮して、余裕を持って発送してください。
- ※3 受検票は願書受付期間終了後に発送しますので、お手元に届かない場合は連絡してください。
- ※4 本校では、災害救助法適用地域における災害に伴う検定料免除の臨時措置を定めています。この制度の適用を希望する場合は、本校のホームページを確認の上、学生課教務係へご連絡ください。

(2) 願書受付場所

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野 4272 番地 1
広島商船高等専門学校 学生課教務係

(3) 出願書類等

入学願書	本校所定の用紙に、必要事項を記入してください。
調査書	本校所定の用紙により在籍学校長が作成してください。 ただし、高等学校から高等専門学校に編入学した者は、出身高等学校の調査書も添付してください。
写真 受検票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼ってください。(写真は、正面上半身、無帽、無背景、縦4cm×横3cmで、3ヶ月以内に撮影した本人確認が可能なもの。)
推薦書	本校所定の用紙により、学校長が作成したものとします。
検定料	ア. 振込依頼書を使用する場合は、最寄りの金融機関(郵便局を除く)の受付窓口から振り込んでください。 イ. 郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込む場合は、受付窓口の振込依頼書を使用してください。その際、現金による振込はできませんので、「通帳とお届け印」又は「キャッシュカード」が必要です。

	<p>振込後，受付窓口で「振込済証明書」又は「振込受付書」を受け取り，「振込済証明書貼付台紙」の所定の位置に貼り付けてください。</p> <p>ウ．いずれの場合も，ATM（現金自動預払機）は振込済証明書が発行されませんので，使用しないでください。</p>
受 検 票 返 信 用 封 筒	<p>本校所定の封筒に，本人の郵便番号・住所・氏名を記入し，362円切手（速達郵便料金）を貼り付けたもの（願書を直接持参する場合は不要）を提出してください。</p>
そ の 他	<p>外国人は，市町村長の交付する住民票（在留資格が明示されたもの）又は在留カードの表面・裏面の両面をコピーしたものを提出してください。</p>

※ 出願に関する注意事項

- ア．郵送の場合は必ず書留郵便とし，封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。
- イ．出願書類等の不備なものは受け付けません。
- ウ．提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は，入学後においても入学を取り消すことがあります。
- エ．願書提出後の記載事項の変更は認めません。
- オ．願書受付後は，出願書類は一切返還いたしません。
- カ．振込済の専攻科入学検定料は，次の場合を除きいかなる理由があっても返還いたしません。
- （ア）専攻科入学検定料を振り込んだが，出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
- （イ）誤って専攻科入学検定料を二重に振り込んだ場合
- なお，上記（ア）又は（イ）に該当する場合は，速やかに学生課教務係へご連絡ください。
- キ．身体に障がい（視覚障がい，聴覚障がい，肢体不自由等）があり，受検上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は，平成30年8月23日（木）までに下記へお問合せください。
- 問合せ先：学生課教務係 電話（0846）67－3022
- ク．出願にあたり提出された入学願書や調査書等に記載されている個人情報及び入学者選抜を通じて得られた個人情報は，次に掲げる目的のために利用します。
- 1 入学者選抜，合格発表，入学手続きの連絡
 - 2 入学後の教育・指導
 - 3 入学後の学生生活支援業務（入学料・授業料の免除申請の審査，奨学金申請の審査）
 - 4 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
 - 5 校友会（同窓会）・奨学後援会等の案内

3 選抜の方法

入学者の選抜は、面接、推薦書及び調査書の内容を総合して行います。

(1) 検査日

産業システム工学専攻	平成30年9月11日(火) 午前10時から
海事システム工学専攻	

※ 当日は午前9時30分までに集合してください。

(2) 検査内容 面接

(3) 検査会場 広島商船高等専門学校

4 合格者の発表

(1) 日時

産業システム工学専攻	平成30年9月14日(金)
海事システム工学専攻	

(2) 発表方法

午前10時に受検者の合格番号を本校構内に掲示するとともにホームページにも掲載します。また、文書で受検者、推薦者あてに合否を通知(当日発送)します。

なお、電話等での問合せには、一切応じられません。

5 入学確約書の提出

産業システム工学専攻	平成30年9月21日(金) 午後5時まで
海事システム工学専攻	

合格内定通知を受けた者は、「入学確約書」(合格内定通知書に同封)を学生課教務係に持参又は書留郵便で提出してください。

なお、期限までに「入学確約書」を提出しない場合は、入学の意思がないものとして取り扱います。

6 入学手続き等

入学手続き日、入学に必要な書類及び経費については、「入学確約書」提出者に、後日通知します。

7 「推薦による選抜」で不合格となった者の「学力検査による選抜」の受検

「推薦による選抜」の結果、不合格となった者で、「学力検査による選抜」の受検を希望する者は、「学力検査による選抜」に定めるところにより、再度出願の手続きを行ってください。

なお、この際は「調査書」及び「住民票」又は「在留カード」の提出は必要ありません。

V 学力検査による選抜

1 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は平成30年9月若しくは平成31年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者又は平成31年3月修了見込みの者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入することができる者
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者又は平成31年3月修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者又は平成31年3月修了見込みの者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は平成31年3月修了見込みの者
- (7) その他本校専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2 出願手続

- (1) 願書受付期間

産業システム工学専攻	平成30年10月31日(水)から平成30年11月6日(火)まで
海事システム工学専攻	平成30年8月27日(月)から平成30年8月31日(金)まで

- ※1 持参の場合は、期間内の午前9時から午後4時まで受け付けます。
- ※2 郵送の場合は、**期間内必着**です。郵便事情を考慮して、余裕を持って発送してください。
- ※3 受検票は願書受付期間終了後に発送しますので、お手元に届かない場合は連絡してください。
- ※4 本校では、災害救助法適用地域における災害に伴う検定料免除の臨時措置を定めています。この制度の適用を希望する場合は、本校のホームページを確認の上、学生課教務係へご連絡ください。

- (2) 願書受付場所

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野 4272 番地 1
広島商船高等専門学校 学生課教務係

(3) 出願書類等

入学願書	本校所定の用紙に、必要事項を記入してください。
調査書	<p>本校所定の用紙により出身又は在籍学校長が作成してください。 ただし、出願資格(1)により高等学校から高等専門学校に編入学した者は、出身高等学校の調査書も添付してください。 また、出願資格(3)により出願する者は、次の①又は②のいずれかと、③の書類を提出してください。</p> <p>① 専修学校が発行する、修業年限2年以上で修了に必要な総時間数が1,700時間以上の専門課程を修了したこと又は修了見込みであることの証明書</p> <p>② 専門士の称号授与証明書又は称号授与見込み証明書</p> <p>③ 専修学校の専門課程における学科の分野や履修内容が確認できる書類</p> <p>なお、出願資格(4)、(5)及び(6)による場合は、資格に係る最終学校の成績証明書をもってこれに代えることができます。</p>
写真票 受検票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼ってください。(写真は、正面上半身、無帽、無背景、縦4cm×横3cmで、3ヶ月以内に撮影した本人確認が可能なもの。)
検定料	<p>ア. 振込依頼書を使用する場合は、最寄りの金融機関(郵便局を除く)の受付窓口から振り込んでください。</p> <p>イ. 郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込む場合は、受付窓口の振込依頼書を使用してください。その際、現金による振込はできませんので、「通帳とお届け印」又は「キャッシュカード」が必要です。 振込後、受付窓口で「振込済証明書」又は「振込受付書」を受け取り、「振込済証明書貼付台紙」の所定の位置に貼り付けてください。</p> <p>ウ. いずれの場合も、ATM(現金自動預払機)は振込済証明書が発行されませんので、使用しないでください。</p>
受検票 返信用封筒	本校所定の封筒に、本人の郵便番号・住所・氏名を記入し、362円切手(速達郵便料金)を貼り付けしたもの(願書を直接持参する場合は不要)を提出してください。
その他	外国人は、市町村長の交付する住民票(在留資格が明示されたもの)又は在留カードの表面・裏面の両面をコピーしたものを提出してください。

※ 出願に関する注意事項

- ア. 郵送の場合は必ず書留郵便とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。
- イ. 出願書類等の不備なものは受け付けません。
- ウ. 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学を取り消すことがあります。
- エ. 願書提出後の記載事項の変更は認めません。
- オ. 願書受付後は、出願書類は一切返還いたしません。

カ. 振込済の専攻科入学検定料は、次の場合を除きいかなる理由があっても返還いたしません。

(ア) 専攻科入学検定料を振り込んだが、出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合

(イ) 誤って専攻科入学検定料を二重に振り込んだ場合

なお、上記(ア)又は(イ)に該当する場合は、速やかに学生課教務係へご連絡ください。

キ. 身体に障がい（視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由等）があり、受検上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、産業システム工学専攻志願者は平成30年10月26日(金)までに、海事システム工学専攻志願者は平成30年8月23日(木)までに下記へお問合せください。

問合せ先：学生課教務係 電話 (0846) 67-3022

ク. 出願資格に際して不明な点がありましたら、事前にご相談ください。

ケ. 出願にあたり提出された入学願書や調査書等に記載されている個人情報及び入学者選抜を通じて得られた個人情報は、次に掲げる目的のために利用します。

- 1 入学者選抜, 合格発表, 入学手続きの連絡
- 2 入学後の教育・指導
- 3 入学後の学生生活支援業務（入学料・授業料の免除申請の審査, 奨学金申請の審査）
- 4 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
5. 校友会（同窓会）・奨学後援会等の案内

3 選抜の方法

入学者の選抜は、学力検査（英語、数学、専門科目）及び調査書の内容を総合して行います。

(1) 検査日

産業システム工学専攻	平成30年11月11日(日) 午前9時45分から
海事システム工学専攻	平成30年9月11日(火) 午前9時45分から

※ 当日は午前9時15分までに集合してください。

(2) 学力検査科目及び時間

科目等	時 間
英 語	9 : 45 ~ 10 : 45
数 学	11 : 00 ~ 12 : 00
専門科目	13 : 00 ~ 15 : 00

(3) 学力検査科目及び出題範囲

〈電気・電子工学系〉 ※ 関数電卓を持参ください。

科 目		出 題 範 囲	
英 語		一般英語	
数 学		線形代数, 微分積分	
専門 科目	右の4科目の 内2科目を選 択すること	電気磁気学	電界, 静電エネルギー, 磁界, 磁界エネルギー
		電気回路	直流回路, 交流回路, 三相交流, 過渡現象
		電子回路	論理回路, 半導体基礎, トランジス タ増幅回路, 演算増幅回路
		情報処理	プログラミング (C言語など), アルゴリズム

〈社会システム工学系〉

科 目		出 題 範 囲	
英 語		一般英語	
数 学		線形代数, 微分積分	
専門 科目	必 修	小 論 文	受検者の専門分野の紹介と今後の抱 負など
	右の4科目の 内1科目を選 択すること	物 流 論	物流の概念, 物流の現状と課題, 物流活動の諸要素 (輸送, 保管, 包 装, 荷役, 流通加工, 情報), ユニッ トロード
		情 報 処 理	整列, 線形リスト, 2分木及びグラ フに関するアルゴリズムとデータ構 造
		応 用 数 理	確率 (確率分布を含む), 推定・検 定 (F分布は含まない), 線形計画 法 (図解法), 最短路問題
		経 済 ・ 経 営	簿記論, 経営学総論, 会計学原理, マーケティング

〈海事システム航海学系〉

科 目		出 題 範 囲	
英 語		一般英語	
数 学		線形代数, 微分積分	
専門 科目	右の3科目の 内2科目を選 択すること	航 海 学	航海計器, 沿岸における航法 (地文 航法)
		運 用 学	操船論, 気象及び海象の基礎事項
		海上交通法	海上衝突予防法, 海上交通安全法

〈海事システム機関学系〉 ※ 関数電卓を持参ください。

科 目		出 題 範 囲	
英 語		一般英語	
数 学		線形代数, 微分積分	
専 門 科 目	右の3科目の 内2科目を選 択すること	原動機工学	内燃機関, 蒸気タービン, ボイラ, ガスタービン, 冷凍空調, 熱力学
		電気電子工学	直流回路, 交流回路, 三相交流, ダイオード, トランジスタ
		機 械 工 学	機械製図, 材料力学, 機械力学

(4) 検査会場 広島商船高等専門学校

4 合格者の発表

(1) 日時

産業システム工学専攻	平成30年11月16日(金)
海事システム工学専攻	平成30年9月14日(金)

(2) 発表方法

午前10時に受検者の合格番号を本校構内に掲示するとともにホームページにも掲載します。また、合格者あてに合格通知書を発送します。

なお、電話等での問合せには、一切応じられません。

5 入学手続き等

入学手続日、入学に必要な書類及び経費については、後日通知します。

VI 社会人特別選抜

1 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、社会人経験のある者とします。

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入することができる者
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) その他本校専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2 出願手続

- (1) 願書受付期間

産業システム工学専攻	平成30年10月31日(水)から平成30年11月6日(火)まで
海事システム工学専攻	平成30年8月27日(月)から平成30年8月31日(金)まで

- ※1 持参の場合は、期間内の午前9時から午後4時まで受け付けます。
- ※2 郵送の場合は、**期間内必着**です。郵便事情を考慮して、余裕を持って発送してください。
- ※3 受検票は願書受付期間終了後に発送しますので、お手元に届かない場合は連絡してください。
- ※4 本校では、災害救助法適用地域における災害に伴う検定料免除の臨時措置を定めています。この制度の適用を希望する場合は、本校のホームページを確認の上、学生課教務係へご連絡ください。

- (2) 願書受付場所

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野 4272 番地 1
広島商船高等専門学校 学生課教務係

(3) 出願書類等

入学願書	本校所定の用紙に、必要事項を記入してください。
調査書	<p>本校所定の用紙により出身学校長が作成してください。</p> <p>ただし、出願資格(1)により高等学校から高等専門学校に編入学した者は、出身高等学校の調査書も添付してください。</p> <p>また、出願資格(3)により出願する者は、次の①又は②のいずれかと、③の書類を提出してください。</p> <p>① 専修学校が発行する、修業年限2年以上で修了に必要な総時間数が1,700時間以上の専門課程を修了したことの証明書</p> <p>② 専門士の称号授与証明書</p> <p>③ 専修学校の専門課程における学科の分野や履修内容が確認できる書類</p> <p>なお、出願資格(4)、(5)及び(6)による場合は、資格に係る最終学校の成績証明書をもってこれに代えることができます。</p>
写真票 受検票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼ってください。(写真は、正面上半身、無帽、無背景、縦4cm×横3cmで、3ヶ月以内に撮影した本人確認が可能なもの。)
志望理由書	本校所定の用紙により、本人が作成したものとします。
承認書	企業等に在職のまま入学を希望する出願者のみ、本校所定の用紙により、所属企業等の長が作成したものとします。
検定料	<p>ア. 振込依頼書を使用する場合は、最寄りの金融機関(郵便局を除く)の受付窓口から振り込んでください。</p> <p>イ. 郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込む場合は、受付窓口の振込依頼書を使用してください。その際、現金による振込はできませんので、「通帳とお届け印」又は「キャッシュカード」が必要です。振込後、受付窓口で「振込済証明書」又は「振込受付書」を受け取り、「振込済証明書貼付台紙」の所定の位置に貼り付けてください。</p> <p>ウ. いずれの場合も、ATM(現金自動預払機)は振込済証明書が発行されませんので、使用しないでください。</p>
受検票 返信用封筒	本校所定の封筒に、本人の郵便番号・住所・氏名を記入し、362円切手(速達郵便料金)を貼り付けしたもの(願書を直接持参する場合は不要)を提出してください。
その他	外国人は、市町村長の交付する住民票(在留資格が明示されたもの)又は在留カードの表面・裏面の両面をコピーしたものを提出してください。

※ 出願に関する注意事項

- ア. 郵送の場合は必ず書留郵便とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。
- イ. 出願書類等の不備なものは受け付けません。
- ウ. 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学を取り消すことがあります。
- エ. 願書提出後の記載事項の変更は認めません。

- オ. 願書受付後は、出願書類は一切返還いたしません。
カ. 振込済の専攻科入学検定料は、次の場合を除きいかなる理由があっても返還いたしません。

(ア) 専攻科入学検定料を振り込んだが、出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合

(イ) 誤って専攻科入学検定料を二重に振り込んだ場合

なお、上記(ア)又は(イ)に該当する場合は、速やかに学生課教務係へご連絡ください。

- キ. 身体に障がい（視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由等）があり、受検上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、産業システム工学専攻志願者は平成30年10月26日（金）までに、海事システム工学専攻志願者は平成30年8月23日（木）までに下記へお問合せください。

問合せ先：学生課教務係 電話（0846）67－3022

- ク. 出願資格に際して不明な点がありましたら、事前にご相談ください。
ケ. 出願にあたり提出された入学願書や調査書等に記載されている個人情報及び入学者選抜を通じて得られた個人情報は、次に掲げる目的のために利用します。
- 1 入学者選抜，合格発表，入学手続きの連絡
 - 2 入学後の教育・指導
 - 3 入学後の学生生活支援業務（入学料・授業料の免除申請の審査，奨学金申請の審査）
 - 4 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
 - 5 校友会（同窓会）・奨学後援会等の案内

3 選抜の方法

入学者の選抜は、面接、志望理由書及び調査書の内容を総合して行います。

- (1) 検査日

産業システム工学専攻	平成30年11月11日（日） 午前10時から
海事システム工学専攻	平成30年9月11日（火） 午前10時から

※ 当日は午前9時30分までに集合してください。

- (2) 検査内容 面接
(3) 検査会場 広島商船高等専門学校

4 合格者の発表

- (1) 日時

産業システム工学専攻	平成30年11月16日（金）
海事システム工学専攻	平成30年9月14日（金）

(2) 発表方法

午前10時に受検者の合格番号を本校構内に掲示するとともにホームページにも掲載します。また、受検者、所属企業等の長（在職のまま入学を希望する場合のみ）あてに文書で合否を通知（当日発送）します。

なお、電話等での問合せには、一切応じられません。

5 入学確約書の提出

産業システム工学専攻	平成30年11月30日(金) 午後5時まで
海事システム工学専攻	平成30年9月21日(金) 午後5時まで

合格通知を受けた者は、「入学確約書」（合格通知書に同封）を学生課教務係に持参又は書留郵便で提出してください。

なお、期限までに「入学確約書」を提出しない場合は、入学の意思がないものとして取り扱います。

6 入学手続き等

入学手続日、入学に必要な書類及び経費については、「入学確約書」提出者に、後日通知します。

入 学 案 内

I 教育理念

本校は、豊かな人間性と国際性及び、強い精神力と高い倫理意識を持ち、将来社会において活躍するための基礎となる知識と技術を身につけ、さらに生涯にわたって学ぶ力を備えた人材を育成する。

II 教育目標

- (A) 豊かな人間性と社会的責任感の育成（人間性と社会貢献）
- (B) 国際社会に対応したコミュニケーションスキルの養成（コミュニケーション能力）
- (C) 基礎科学と情報技術の修得とその活用（知識・技術とその活用）
- (D) 専門的知識・技術の確立と発展的応用（専門性とその拡充）
- (E) 社会情勢の変化に対応した問題解決能力の育成（創造性と探求心）

III 専攻科の設置

平成17年4月

IV 入学定員

産業システム工学専攻	8名
海事システム工学専攻	4名

V 修業年限及び修了要件

1. 修業年限 2か年
2. 修了要件 学則に従い62単位以上修得すること。

VI 専攻科で身につける能力

本専攻科では、「海事システム工学専攻」と「産業システム工学専攻」の2つの専攻から成り立っており、それぞれの専攻では、以下のような能力を身につけることを目指します。

海事システム工学専攻

海事に関わる幅広い知識・技術を持ち、海上輸送に関わるシステムの技術開発やマネジメントができる人材を目指し、以下のような能力の取得を目的とします。

海上輸送、港湾、法規などの船舶運航分野又は熱機関、電気機械、設計などの船舶機関分野に加え、安全、環境、社会工学分野の知識・技術を取得し、海上輸送に関わる新技術の開発やマネジメントの能力を身につけます。

特別研究に取り組み、変化する社会や産業の状況を把握して課題を発見し、その解決策を計画して実行するとともに、その結果を検証する能力を身につけます。

産業システム工学専攻

産業システム工学専攻は大きく「電気電子工学系」及び「社会システム工学系」の2つの分野があり、それぞれ以下のような能力の修得を目的としています。

〈電気電子工学系〉

電子制御に関わる高度な知識・技術を持ち、制御機器・システムの技術開発や管理ができる人材を目指し、以下のような能力の修得を目的としています。

電気・電子、機械、計測、制御、情報などの電子制御分野に加え、安全、環境、社会工学分野の知識・技術を修得し、制御機器・システムの開発や運用の能力を身につけます。

特別研究に取り組み、変化する社会や産業の状況を把握して課題を発見し、その解決策を計画して実行するとともに、その結果を検証する能力を身につけます。

〈社会システム工学系〉

経営や情報に関わる高度な知識・技術を持ち、流通や物流の技術開発やマネジメントができる人材を目指し、以下のような能力の修得を目的としています。

物流、輸送、交通工学、マーケティング、コスト・マネジメントなど流通・社会工学分野に加え、安全、環境に関わる知識・技術を修得し、流通・社会システムの開発やマネジメントの能力を身につけます。

特別研究に取り組み、変化する社会や産業の状況を把握して課題を発見し、その解決策を計画して実行するとともに、その結果を検証する能力を身につけます。

Ⅶ 専攻科の教育課程

(産業システム工学専攻)

区分	必修 選択		単位数	第1年次		第2年次	
				4月～ 9月期	10月～ 3月期	4月～ 9月期	10月～ 3月期
一般科目	必修	英語	2	2			
		比較文学思想論	2			2	
	選択	比較政治論	2		2		
		生命環境科学	2			2	
一般科目開設単位数計			8	2	2	4	
専門基礎科目	必修	数理学A	2	2			
		数理学B	2		2		
		数理学C	2		2		
	選択	知的財産マネジメント論	2			2	
		情報サービス技術概論	2		2		
		コンピュータ活用概論Ⅰ	2	2			
		コンピュータ活用概論Ⅱ	2		2		
専門基礎科目開設単位数計			14	4	4	2	
専門科目	必修	特別研究Ⅰ	2		2		
		特別研究Ⅱ	10			4	6
		産業システム工学特別演習	2	2			
		産業システム工学特別実験	2		2		
	選択	エネルギー変換工学	2			2	
		電子物性工学	2	2			
		計測工学特論	2				2
		デバイス工学	2				2
		電子計測特論	2		2		
		機構設計論	2		2		
		機器加工学	2				2
		電気数学	2	2			
		信号処理論	2				2
		システム制御論	2			2	
		ソフトウェア工学	2		2		
		画像工学	2				2
		シミュレーション工学	2		2		
		創造設計工学	2	2			
		輸送安全工学	2		2		
		数理計画法	2			2	
		ロジスティクス工学	2			2	
		交通工学	2	2			
		ターミナル工学	2	2			
		輸送ネットワーク	2		2		
		ロジスティクス環境工学	2			2	
		交通計画論	2	2			
		社会システム論	2			2	
		社会基盤論	2	2			
		マーケティング・リサーチ	2				2
		コスト・マネジメント	2			2	
		ライフサイクル・アナリシス	2		2		
		特別研修	2				
	専門科目開設単位数計			72	16	18	18
	開設単位数計			94	22	22	24

(海事システム工学専攻)

区分	必修 選択		単位数	第1年次		第2年次	
				4月～ 9月期	10月～ 3月期	4月～ 9月期	10月～ 3月期
一般科目	必修	英語	2	2			
	選択	比較文学思想論	2				2
		比較政治論	2		2		
		生命環境科学	2				2
一般科目開設単位数計			8	2	2	4	
専門基礎科目	必修	数理科学A	2	2			
		数理科学B	2		2		
		数理科学C	2		2		
	選択	知的財産マネジメント論	2				2
		情報サービス技術概論	2		2		
		コンピュータ活用概論Ⅰ	2	2			
		コンピュータ活用概論Ⅱ	2			2	
専門基礎科目開設単位数計			14	4	4	2	
専門科目	必修	特別研究Ⅰ	2		2		
		特別研究Ⅱ	10			4	6
		産業システム工学特別演習	2	2			
		産業システム工学特別実験	2		2		
	選択	エネルギー変換工学	2			2	
		電子物性工学	2	2			
		計測工学特論	2				2
		デバイス工学	2				2
		電子計測特論	2		2		
		機構設計論	2		2		
		機器加工学	2				2
		電気数学	2	2			
		信号処理論	2				2
		システム制御論	2			2	
		ソフトウェア工学	2		2		
		画像工学	2				2
		シミュレーション工学	2		2		
		創造設計工学	2	2			
		輸送安全工学	2		2		
		数理計画法	2			2	
		ロジスティクス工学	2			2	
		交通工学	2	2			
		ターミナル工学	2	2			
		輸送ネットワーク	2		2		
		ロジスティクス環境工学	2			2	
		交通計画論	2	2			
		社会システム論	2			2	
		社会基盤論	2	2			
		マーケティング・リサーチ	2				2
		コスト・マネジメント	2			2	
		ライフサイクル・アナリシス	2		2		
		特別研修	2				
	専門科目開設単位数計			72	16	18	18
	開設単位数計			94	22	22	24

Ⅷ 学士の学位取得

高等専門学校の特攻科で2年以上にわたり62単位以上を修得し、(独)大学改革支援・学位授与機構の審査により一定の基準をみたし、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められた場合は、学士の学位を取得できます。ただし、学位の取得には別途申請手続きと学位審査手数料が必要です。

ただし、他の高等専門学校から入学した場合等は入学後に特例による学位授与申請が可能であるかについては確認する必要があります。

【取得できる学位】

産業システム工学専攻の場合 学士(工学)

海事システム工学専攻の場合 学士(商船学)

(参考)(独)大学改革支援・学位授与機構の審査手数料32,000円(平成30年度)

Ⅸ 入学時に本校へ納める経費

費	目	金額	備考
全員が必要な経費	入学料	84,600円	
	授業料	117,300円	前期分(年額234,600円)
	教科書代	約10,000円	専攻ごとに異なります。
	日本スポーツ振興センター掛金	1,520円	年額
その他経費	奨学後援会費(保護者会)	16,000円	前期分(年額24,000円※後期分8,000円)
	奨学後援会入会金(保護者会)	5,000円	(本校の本科からの進学者は不要)

X 入学料・授業料の免除

1. 入学料免除

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡、風水害等の災害を受けた場合等により入学料の納付が著しく困難と認められる場合には、本人の申請に基づき、選考の上、入学料の全額又は半額を免除することがあります。

2. 授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者又は入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡、風水害等の災害を受けた場合等により、納付が困難と認められる者には、本人の申請に基づき、選考の上、授業料の全額又は半額を免除することがあります。

XI 奨学金制度

1. 日本学生支援機構

日本学生支援機構の規定に基づき、学業・人物ともに優れ、かつ、健康であって学資の支弁が困難と認められる者に対し、本人の申請に基づき、選考の上、日本学生支援機構から奨学金が貸与されます。

2. 海技教育財団（海事システム工学専攻のみ対象）

海技教育財団の規定に基づき、学業・人物が優秀であり、かつ、船員になろうとする者で、家計の状況からみて、奨学金の貸与が必要と認められる者に対し、本人の申請に基づき、選考の上、海技教育財団から奨学金が貸与されます。

3. 近藤記念海事財団

本校で定める近藤記念海事財団の規定に基づき、学業・人物ともに優秀で、かつ、健康であって学資の支弁が困難と認められる者に対し、本人の申請に基づき、選考の上、本校から奨学金を貸与します。

なお、修了後、6か月以内に乗船勤務又は海事に関する業務に従事し、5年以上その職を継続した場合、それ以降の返還は免除されます。

(参考) 貸与月額 (平成30年度)

日本学生支援機構	第1種 (無利子)	自宅通学	20,000円, 30,000円, 45,000円から選択
		自宅外通学	20,000円, 30,000円, 40,000円, 51,000円から選択
	第2種 (有利子)		20,000円から120,000円まで, 1万円単位で選択
海技教育財団	海事システム工学専攻対象		25,000円又は50,000円
近藤記念海事財団	全ての学生対象		20,000円

平成31年度 専攻科入学願書提出書類確認表

(推薦・学力・社会人)：該当する選抜方法に○をしてください。

※ ○をした選抜方法の提出書類を次の表によりチェックし、提出書類の一番上に添付して提出してください。

志望専攻名 _____

氏 名 _____

< 推 薦 >

提出書類	チェック欄	備 考
入 学 願 書		
調 査 書		成績証明書を添付すること
写 真 票 ・ 受 検 票		
推 薦 書		
振 込 済 証 明 書 貼 付 台 紙		16,500円の振込済証明書を貼付
受 検 票 返 信 用 封 筒 (長 形 3 号)		受検票の郵送を希望する場合のみ
在 留 カ ー ド 等		外国人の場合

< 学 力 >

提出書類	チェック欄	備 考
入 学 願 書		
調 査 書		<ul style="list-style-type: none"> 出願資格により別途提出証明書あり 成績証明書を添付すること
写 真 票 ・ 受 検 票		
振 込 済 証 明 書 貼 付 台 紙		16,500円の振込済証明書を貼付
受 検 票 返 信 用 封 筒 (長 形 3 号)		受検票の郵送を希望する場合のみ
在 留 カ ー ド 等		外国人の場合

< 社 会 人 >

提出書類	チェック欄	備 考
入 学 願 書		
調 査 書		<ul style="list-style-type: none"> 出願資格により別途提出証明書あり 成績証明書を添付すること
写 真 票 ・ 受 検 票		
志 望 理 由 書		
承 認 書		企業等に在職のまま入学を希望する者
振 込 済 証 明 書 貼 付 台 紙		16,500円の振込済証明書を貼付
受 検 票 返 信 用 封 筒 (長 形 3 号)		受検票の郵送を希望する場合のみ
在 留 カ ー ド 等		外国人の場合

平成31年度 広島商船高等専門学校専攻科
入 学 願 書

志望専攻名	産業システム・海事システム 工学専攻		受検番号	※
ふりがな			検査区分	1 推薦選抜 2 学力選抜 3 社会人特別選抜
氏名	昭和・平成 年 月 日生 男・女			
出願資格 (在籍又は出身学校)	学校名	学科名		
	昭和・平成 年 月		卒業・卒業見込・修了・修了見込	
ふりがな				
現住所				
郵便番号	〒	電話番号	() -	
受検関係 連絡先 (帰省先等)	〒			
	電話番号 ()	-	携帯番号 ()	-
学力で受検する 選択科目	電気・電子工学系	()	()	
	社会システム工学系	()		
	海事システム航海学系	()	()	
	海事システム機関学系	()	()	
学歴及び職歴	昭和・平成 年 月 日	中学校 卒業		
	自 昭和・平成 年 月 日			
	至 昭和・平成 年 月 日			
	自 昭和・平成 年 月 日			
	至 昭和・平成 年 月 日			
	自 昭和・平成 年 月 日			
	至 昭和・平成 年 月 日			
	自 昭和・平成 年 月 日			
*勤務先	名称 (部署まで)			
	所在地	〒	電話番号 ()	-

【記入上の注意】

- 1 ※印欄は、記入しないでください。
- 2 該当事項は○で囲んでください。
- 3 学歴及び職歴欄は、中学校卒業から連続して記入してください。なお、現在企業等に在職しているものの、今後、退職する予定のある出願者は退職予定年月を記入してください。
- 4 *勤務先欄は、企業等に在職のまま入学を希望する出願者のみ記入してください。

平成31年度 広島商船高等専門学校専攻科
調 査 書

志望専攻名	産業システム・海事システム 工学専攻	受検番号	※
ふりがな	学 校 ・ 学 科	国立 公立 私立	(学校名) _____
氏 名			(学科名) _____
生年月日		昭和・平成 年 月 日生	昭和・平成 年 月 日 入学・編入学・転入学
性 別	男 ・ 女	昭和・平成 年 月 日 卒業・卒業見込・修了・修了見込	
成 績 証 明 書	評 価 基 準	区 分	点 数 の 範 囲
			点 ~ 点
			点 ~ 点
			点 ~ 点
			点 ~ 点
卒業研究題目及び概要	(人物・課外活動・生活態度・志望理由等について本校専攻科のアドミッションポリシーを考慮して記入してください。)		
在学中の状況			
上記のとおり相違ないことを証明する。			
平成 年 月 日			
学 校 名			
学 校 長 名 印			
記 載 責 任 者 名 印			

- 1 ※印欄は、記入しないでください。
- 2 該当事項は○で囲んでください。

平成31年度 広島商船高等専門学校専攻科

写 真 票

※ 受検番号		
志望専攻名	産業システム・海事システム 工学専攻	
学 力 で 受検する 選択科目		
ふりがな 氏 名		男・女

写 真 貼 付 欄

1. 写真は正面上半身、
無帽、無背景（4cm×
3cm）
2. 写真の裏に氏名を
明記してください。
3. 全体にのりづけして
ください。

（注）※印欄は写真票，受検票ともに記入しないでください。

該当事項は○で囲んでください。

平成31年度 広島商船高等専門学校専攻科

受 検 票

※ 受検番号		
志望専攻名	産業システム・海事システム 工学専攻	
学 力 で 受検する 選択科目		
ふりがな 氏 名		男・女

受検上の注意

1. この受検票は，受検の際に必ず携帯してください。
2. 当日 時 分までに検査場に集合してください。

〒725-0231

広島県豊田郡大崎上島町東野4272番地1

広島商船高等専門学校 学生課教務係

電話（0846）67-3022

平成31年度 広島商船高等専門学校専攻科
推 薦 書

広島商船高等専門学校長 殿

平成 年 月 日

所在地

学校名

学校長名

職印

記載責任者名

下記の者は、学業成績及び人物ともに優秀であり、貴校専攻科への入学者としてふさわしい資質を持つ者と認め、推薦します。

記

志願者氏名：

在籍学科： 学 科

生年月日： 昭和・平成 年 月 日生

志望専攻名： 産業システム・海事システム 工学専攻

以下の各項目は、本校専攻科のアドミッションポリシーを考慮してご記入ください。

人 物	
学 業 (卒業研究含む)	
志望理由・適性等	

- ※印欄は、記入しないでください。
- 該当事項は○で囲んでください。

平成31年度 広島商船高等専門学校専攻科
志望理由書

志望 専攻名	産業システム 海事システム 工学専攻	ふりがな 氏名		受検番号	※
(本校専攻科のアドミッションポリシーを考慮してご記入ください)					

- ※印欄は，記入しないでください。
- 該当事項は○で囲んでください。

受検番号 ※

社会人特別選抜用

平成31年度 広島商船高等専門学校専攻科
承認書

平成 年 月 日

広島商船高等専門学校長 殿

所在地

企業等名

所属長

職印

下記の者が、貴校の専攻科社会人特別選抜に志願することを承認いたします。

記

志願者氏名：

生年月日： 昭和・平成 年 月 日生

所属部・課・係：

志望専攻名： 産業システム・海事システム 工学専攻

- 1 ※印欄は、記入しないでください。
- 2 該当事項は○で囲んでください。
- 3 企業等に在職のまま入学を希望する志願者のみ記入してください。

入学検定料振込依頼書

注意事項

- この振込依頼書を、金融機関の窓口へ持参し、振り込みしてください（ATM利用不可）
振込済証明書を必ず受け取り、振込済証明書貼付台紙の所定の位置にのりで貼り付けてください。
- 振込人は、志願者名で記入してください。
- 振込手数料については、金融機関の窓口でお支払いください。
- 受取書は本人が保管してください。
- 振込受付期間
【推薦・海事システム工学専攻学力及び社会人特別選抜】
平成30年8月1日(水)～8月31日(金)

【産業システム工学専攻学力及び社会人特別選抜】

平成30年10月3日(水)～11月6日(火)

[注意]

ゆうちょ銀行からの振り込みは口座からのみ可能で、現金による振り込みはできません。『通帳とお届け印』または『キャッシュカード』が必要です。

また、ゆうちょ銀行からの振り込みは募集要項に添付されている振込依頼書を使用することはできません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り、記入していただく必要があります。

振込先は、『独立行政法人国立高等専門学校機構本部』となりますのでご注意ください。

振込後は「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」を受領し、「振込済証明書貼付台紙」に貼り付けてください。

※ ここから切り離して使用してください。

受取書

金額	千円	百円	円	手数料
	1	6	50	
受取人	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部			
振込先銀行	広島銀行 木江支店			
振込人	氏名			
備考	平成31年度 専攻科入学検定料			
取扱店	銀行	支店		
(振込金受取書) <現金・小切手> 印紙200円 振込金+手数料が 5万円未満非課税 (振込受付書) <払戻請求書> 非課税				

取扱銀行 → 振込人

振込済証明書(出願書類に添付)

金額	千円	百円	円
	1	6	50
受取人	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部		
振込先銀行	広島銀行 木江支店		
振込人	氏名		
備考	平成31年度 専攻科入学検定料		
取扱銀行 収納印			

取扱銀行 → 振込人 → 広島商船高等

振込依頼書

電話取扱	電話取扱	ご依頼日	年	月	日				
振込先銀行	広島銀行 木江支店								
預金科目	口座番号	3082220							
フリガナ (ドク) コクリソコウトウセンモンガンコウキコウホンプ 受取人 おなまえ 独立行政法人国立高等専門学校機構本部 フリガナ 振込人 おなまえ おところ (ご連絡先電話)									
金額	十億	千	百	十	万	千	百	十	円
									16500
(金額・受取人は訂正いたしません) (キリトリせん)									
種類	内	訳	10,000 () 枚 0,000 () 葉 5,000 () 枚 000 () 葉 2,000 () 枚 000 () 葉 1,000 () 枚 000 () 葉 500 () 枚 000 () 葉 100 () 枚 00 () 本 50 () 枚 00 () 本 10 () 枚 0 () 本 5 () 枚 0 () 本 1 () 枚 () 本 現金計 現金自動振替機 小切手 私振請求書 おつり						
出納印 または 為替ブルー印									
精査	才へ	受付							

※ 手数料依頼人負担

規定料金	手数料

振込済証明書貼付台紙

- ・この台紙に「振込済証明書」を貼り付けてください。
- ・取扱店収納印のないものは無効ですので、必ず確認してください。
- ・郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込んだ者は、「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」を貼り付けてください。



速 達



1. 362円切手を貼付のこと。
(入学願書持参の場合は不要)
2. この封筒に住
所氏名及び郵
便番号を明記
すること。

専攻科受検票在中

様



独立行政法人 国立高等専門学校機構

広島商船高等専門学校

National Institute of Technology, Hiroshima College

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野4272-1

学生課教務係 TEL：0846-67-3022